

不二製油グループ本社（株） IR参考資料

2020年度（2021年3月期）

- 第2四半期 -

<u>ページ</u>	<u>項目</u>
1	表紙
2	FY2020 2Q Pickup：新型コロナウイルスの影響について
3	IR補足①：主要製品群の販売数量推移（前年同期比）
4	IR補足②：主要原料チャート（2020年9月末まで）
5	IR補足③：中期経営計画 / 主なトピックス

FY2020 2Q Pickup : 新型コロナウイルスの影響について

- **上期/新型コロナウイルスの影響** 1Q: 巣籠り需要や健康志向の加速により、一部製品は数量が増加したが、外食や観光関連の需要は減少。
 2Q: 巣籠り特需の反動はあったが、外食、観光需要は徐々に回復。
 上期: 1Qは想定より影響は小さかったが、2Qは回復が遅く想定より影響は大きく出た。上期トータルでは期初の想定通りで着地。
- **下期/新型コロナウイルスの影響の見通し**
- ・ **期初計画前提(5月)** 6月末に感染拡大が収束するという前提に基づき、1Qは各エリアで収益が低下するも、2Qより徐々に需要は回復、下期には影響を織込まず策定。
- ・ **修正計画前提(11月)** 足元の状況を鑑み、各エリア、市場毎に影響が継続するという前提条件で計画を修正。

上期状況		下期影響見通し
日本	業務用チョコレート ・土産向け数量は大幅に減少も回復傾向。 (数量前年同期比: 1Q ▲約70%、2Q ▲約50%) ・アイスや菓子も堅調。	業務用チョコレート ・土産向け数量は前年比▲50%程度で推移すると想定。 ・前期4Qの巣籠り特需は剥落。
	乳化・発酵素材 ・外食(カフェ)、土産向けの需要減少により数量減少。 ・2Qは各市場で回復傾向。	乳化・発酵素材 ・外食(カフェ)向けは前年比▲20%、土産向けは前年比▲50%の数量推移を想定。
	大豆加工素材 ・健康志向が高まり、大豆たん白素材(粉末状・粒状大豆たん白)が堅調。 ・外出機会の減少による飲料の販売減少により、機能剤は減少。	大豆加工素材 ・大豆たん白素材は、新工場稼働により堅調な販売を見込む。 ・飲料需要の緩やかな回復を想定。
米国	植物性油脂 ・小売向け製品は安定も、外食向けの需要減少。	植物性油脂 ・小売向け製品は安定も、外食向けは低調が続く見込み。
	業務用チョコレート(上期 2-7月) ・1Q(2-4月)は巣籠り需要が見られたが、2Q(5-7月)販売数量減少。	業務用チョコレート(下期 8-1月) ・催事向けの進展は弱い、販売数量は前年並みまでの回復を見込む。
ブラジル	業務用チョコレート ・1Qは外食向け等、主要顧客の閉鎖により大幅な数量減少。 ・2Qは経済活動の再開により数量急回復、7月以降は前年を上回る数量推移。	業務用チョコレート ・リアル安の進行による採算悪化を織込むも、例年並みの販売数量を想定。
東南アジア	業務用チョコレート/乳化・発酵素材 ・外出規制によりアイス、パン、デザート向け需要減少。	業務用チョコレート/乳化・発酵素材 ・回復鈍く新興国を中心に需要弱い。販促進める。
中国	乳化・発酵素材 ・1Qはパン市場の需要減少により、製パン素材の販売減少。 ・2Qは市場の回復に加え、国慶節の国内需要が増加。	乳化・発酵素材 ・景況感は改善傾向。拡販進める。
欧州	植物性油脂/業務用チョコレート ・土産、外食向けの数量減少。 ・2Qは回復傾向も前年を下回り推移。	植物性油脂/業務用チョコレート ・感染再拡大、土産、外食向けの販売数量は前年を下回ると想定。

IR補足①：主要製品群の販売数量推移（前年同期比）

セグメント	エリア	製品群	2017	2018年度 実績							2019年度 実績							2020年度 実績(*5)							2020年度 2Q ポイント			
				1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	Total	1Q	2Q	上期	3Q	4Q 海外 10-12 月	4Q 海外 1-3月	下期 (*3)	Total (*4) 15ヶ月 同月比	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期		Total		
植物性 油脂	日本	チョコレート用油脂	99%	96%	98%	97%	96%	96%	96%	97%	97%	107%	102%	108%	108%	-	108%	105%	111%	98%	104%							菓菓子消費による販売が一服。
	米州		85%	104%	103%	104%	109%	93%	101%	102%	98%	103%	100%	107%	107%	110%	108%	105%	99%	84%	91%							販売数量の減少も需要は安定。
	東南アジア		108%	112%	102%	107%	80%	98%	88%	97%	98%	95%	97%	95%	74%	87%	85%	90%	80%	76%	78%							CBEは在庫調整により微減、CBS,CBRは販売減少。
	中国		114%	83%	103%	90%	96%	87%	91%	91%	73%	97%	83%	65%	83%	52%	68%	74%	98%	81%	89%							CBEは前年並みもCBSの販売減少。
	欧州		102%	92%	105%	98%	90%	90%	90%	93%	84%	83%	84%	78%	103%	93%	91%	88%	69%	86%	78%							土産需要の低迷の継続により減少。
	合計		99%	103%	102%	103%	91%	95%	93%	97%	94%	97%	96%	98%	92%	94%	94%	94%	88%	83%	86%							
業務用 チョコレート	日本	チョコレート (カカオ製品含む)	102%	102%	91%	96%	99%	90%	95%	96%	93%	103%	98%	100%	102%	-	101%	100%	94%	94%	94%							アイス向けは堅調も、土産向けは減少。
	米州(ブラジル)		89%	93%	92%	92%	102%	117%	110%	101%	82%	131%	96%	105%	128%	105%	113%	106%	47%	114%	84%							経済活動の再開により主要顧客であるフードサービスや業務用スーパー向けが増加。
	東南アジア		124%	104%	98%	101%	101%	107%	104%	103%	119%	127%	123%	106%	101%	98%	102%	110%	82%	92%	87%							外出規制の影響を受け、パンやアイス向けが減少。豪州は堅調。
	中国		92%	141%	114%	127%	114%	121%	118%	122%	99%	104%	101%	106%	121%	82%	105%	103%	146%	195%	173%							Blommer中国事業が加わったことに加え、菓子向けが堅調。
	欧州		105%	122%	131%	127%	120%	119%	120%	123%	123%	106%	114%	114%	95%	97%	102%	106%	77%	81%	79%							外出規制により外食、土産市場を中心に減少。
	合計(*1)		101%	100%	96%	98%	105%	110%	107%	103%	95%	115%	104%	104%	111%	101%	106%	105%	79%	103%	92%							
ブラマー(*2)	チョコレート (カカオ製品含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	107%	98%	102%	93%	91%	-	92%	97%	100%	83%	90%							(5-7月) 菓菓子需要の反動や、新型コロナウイルスの影響により減少。	
乳化・発酵 素材	日本	クリーム	104%	104%	101%	102%	94%	99%	96%	99%	107%	104%	105%	97%	96%	-	97%	101%	87%	97%	92%							デザート向けは堅調に推移。カフェチェーン向けは回復基調も前年水準までは戻らず。
		マーガリン ショートニング	98%	96%	98%	97%	96%	92%	94%	96%	84%	85%	85%	82%	86%	-	84%	84%	82%	88%	85%							製菓・製パン需要の低下による減少。
	東南アジア	クリーム	120%	125%	100%	111%	103%	114%	109%	110%	116%	116%	116%	130%	105%	85%	104%	110%	69%	109%	89%							ショッピングモールの再開等により増加。
	中国	マーガリン ショートニング	110%	95%	99%	97%	92%	122%	106%	103%	94%	88%	91%	83%	86%	77%	82%	86%	93%	107%	100%							市場の回復に加え、拡販活動により増加。
		フィリング	160%	161%	132%	145%	139%	141%	140%	142%	115%	114%	114%	98%	98%	72%	90%	99%	94%	112%	103%							市場の回復に加え、商品提案などの販売促進により増加。
大豆加工 素材	日本	大豆たん白素材	103%	104%	104%	104%	105%	102%	104%	104%	101%	104%	103%	102%	109%	-	106%	104%	108%	108%	108%							健康栄養市場やシリアル向けが堅調に推移。
		大豆たん白食品	89%	83%	84%	83%	103%	105%	104%	93%	108%	102%	105%	98%	98%	-	98%	101%	93%	104%	99%							学校給食の再開、宅配需要の堅調な推移により増加。
		機能剤	103%	96%	107%	102%	91%	107%	99%	101%	96%	90%	93%	110%	83%	-	95%	94%	103%	88%	95%							飲料向けなどが減少。

注) 製品区分定義の見直し等により、過年度の実数に変更がある場合は遡及修正後数値を表示

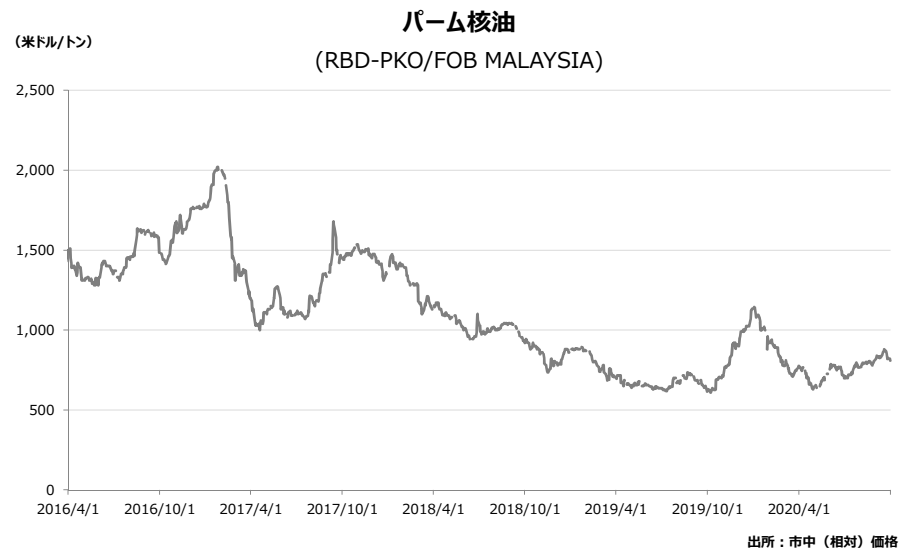
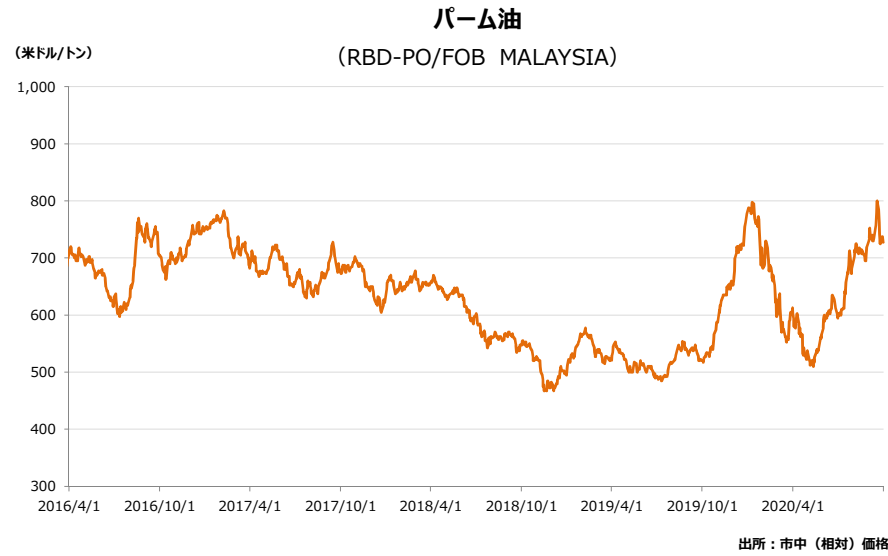
*1:Blommerの数量は除いて算出 *2: BlommerのP/L連結は2019年1Qから開始、参考値として連結前の同月期の販売数量実績対比の指数を掲載

*3:19年度下期(海外7-3月)については、日本等の3月決算の会社は10-3月を、12月から3月に決算期を変更した海外グループ会社は7-3月の前年同期間を比較。

*4:2019年度については、従来より3月決算の会社の12ヶ月間の数量と、決算期を12月から3月に変更した海外グループ会社の15ヶ月間の数量の合計を、前年同期比で比較。

*5:2020年度については、2019年度に決算期変更を12月から3月に変更した海外グループ会社については、前年同期比として比較。

IR補足②：主要原料チャート（2020年9月末まで）



IR補足③：中期経営計画 / 主なトピックス

●中期経営計画



	※基準年					中計策定時 20年度目標
	16年度 実績	17年度 実績	18年度 実績	19年度 実績*1	20年度 修正予想 (4か年の累計予想)	
ROE	8.3%	8.8%	7.3%	10.5%	6.4%	10.0%
売上高純利益率	4.1%	4.5%	3.8%	3.9%	-	約5%
総資産回転率	107.5%	113.6%	77.0%	112.9%	-	約115%
財務レバレッジ(倍)	1.8	1.7	2.5	2.4	-	約1.8倍
EPS(円)	140.8	159.9	134.7	190.5	116.3	EPS CAGR 8%以上
EPS成長率	31.2%	13.5%	▲15.7%	-	-	
営業利益(億円)	197	205	185	236	165	営業利益 CAGR 6%以上
営業利益成長率	16.9%	4.0%	▲9.5%	-	-	
株主還元(配当性向)	31.2%	30.0%	37.1%	29.4%	44.8%	配当性向 30-40%
営業キャッシュフロー(億円)	165	282	226	371	340	4か年累計 1,000億円
CCC(日)	110	103	105*2	113*3	104	CCC 10日間の短縮
売上債権(日)	74	76	-	62	60	
棚卸資産(日)	65	57	-	75	71	
仕入債務(日)	29	30	-	25	27	
設備投資(億円)	136	147	159	180	230	4か年累計 600-700億円
M&A	-	-	プラマー-IFS	-	-	500億円の資金確保

*1：19年度実績は海外グループ会社（プラマー、蒙州IFSを除く）の決算期変更（12月→3月）に伴う15ヶ月決算数値を反映。

*2：18年度のCCCはプラマーを除く

*3：19年度のCCCは、15ヶ月決算適用海外グループ会社を12ヶ月換算し算出

●2020年度 主なトピックス（日付はHPリリース公開日）

日付	Topics	日付	Topics
2020.5.7	温室効果ガス削減目標に関して「SBT イニシアチブ」の認証を取得	2020.8.20	非連結子会社（3F FUJI FOODS PRIVATE LIMITED）の異動（持分譲渡）
2020.5.12	連結子会社の異動（トーラク株式会社への発行済株式の全てを譲渡）	2020.9.9	ジャパンタイムズ Satoyama & ESG アワード2020のESGの部において大賞を受賞
2020.5.19	役員に対する業績連動型株式報酬制度を導入	2020.9.11	UPGRADE Plant based kitchenあふの環サステナウィーク参画
2020.6.4	児童労働撲滅、森林破壊防止に向け、サステナブル調達コミットメントを策定	2020.9.17	「統合報告書2020」を発行
2020.6.18	第92回定時株主総会	2020.9.30	『Food Tech Studio - Bites!』参画に関するお知らせ
2020.6.23	「第5回 日本ベジタリアンアワード」で大賞を受賞	2020.10.1	継続的なDHA 297 mgの摂取が加齢に伴う認知機能の低下を抑制することを確認
2020.6.30	責任あるパーム油調達に関する取組み状況を公表	2020.10.9	創立70周年
2020.7.3	「サステナビリティレポート2020」を公開		